

令和7年度第2回印西市総合教育会議に関するアンケートについて テーマ「不登校支援」

※会議の様子は市 YouTube チャンネルからご覧いただけます。

令和7年度第2回会議のアーカイブは次のとおりです。

<https://www.youtube.com/watch?v=hixIusWYb5s>

いただいた質問とその回答（今回のテーマについて）

ご質問 不登校訪問相談員は、教員免許がないと研修を受けられないのでしょうか？
教員免許はあれど教員経験がない20代には難しいでしょうか？帰りがけに弘海先生にお話しさせていただきましたが、幼稚園や保育園がバラバラで知り合いが少ない状況で学区の小学校に通うので、年長の時期に何度か入学する小学校に集まり親子でアイスブレイクをしながら交流やLINE交換をする機会を与え、親が友達をつくる姿を見てもらうのも良いかなと思いました。新たに友達をつくる術を身につけられたら新しい子も受け入れやすくなるかと。何度か参加して不安に感じるなら小規模特認校もあるよ。と紹介できればと思います。市民活動団体だがしやあめちゃんがイベントお手伝いします。印西市の青少年相談員

回答 北総地区の不登校に対応している訪問相談担当教員は現職の教員が担当しているため、教員免許のみでは該当職になることはできません。県や市が所管する不登校に関する研修についても、現職を対象としているものが多い状況です。
教員免許を生かして、現場での勤務を希望される場合は、学習指導員や教育支援センター支援員など会計年度職員として、要教員免許のものがありますので、広報等をご覧になりご検討いただければと思います。

ご質問 今回の議論を受けて、職員の皆様が具体的にどのように動かれるかはどのように知ることができるでしょうか？専門家の先生のお話、とても興味深く伺いましたし、自分を責めている親子に届くと良いなと思います。不登校は本人の問題ではなく、時代の歪みのようなものなのだと思います。学校に戻すだけではない選択肢が増えていくことを願います。

回答 今回の議論を含め、総合教育会議において、印西市教育ビジョンを策定していきます。この中に市が推進していくプロジェクトとして盛り込むよう検討しています。

いただいた質問とその回答（今回のテーマ以外について）

ご質問 部活動について、子供たち、保護者から多くの不満が聞こえて来ています。特に文化部の対応が後回しになり、きちんと指導がされていない部分があります。教育の指導については県の管轄と言われ、意見を言っても何も対応がなされないと言う印象です。市としてはどのような考えなのでしょうか。

回答 頂いたご意見を真摯に受け止め、市としても休日における部活動の地域移行に関する体制づくりや情報提供に努めてまいります。なお、具体的なご相談がありましたら、適切な指導となるよう学校とも協議してまいりますので、指導課（0476-33-4705）までご連絡ください。

ご質問 給食について：印西産の有機栽培の米や野菜を一部分だけでも使えないか、流通システムの構築や生産者支援など 現段階の印西市としての見解や現状を知りたい。

回答 本市の学校給食で使用する食材につきましては、お米は全て印西産のものを、野菜に関しましては可能な限り市内農産物を使用することに心掛けています。

ご質問にあります有機栽培食材の使用は、子どもの健康増進、地域農業の活性化、食育の推進等のメリットがあることは承知をしております。一方で、学校給食への有機農産物（オーガニック農産物等）の導入につきましては、学校給食に適した食材の必要量の確保も必要であり、加えて、その価格なども踏まえたうえで検討していくことが必要になるなど、課題がありますことからそれらの課題解決に向け、生産者や農政部門と連携して調査・研究をしてまいりたいと考えております。

なお、市では、現在、市長マニフェストに記載された「学校給食での市内農産物の利用促進、安心安全な有機野菜の利用促進」の実現に向け、「市長公約実現に向けたロードマップ（工程表）」を作成し、取組みをしているところでございますので、まずは、学校給食での市内農産物の利用促進、拡大から進めてまいりたいと考えております。

その他、いただいたご意見

- ・最後の方しか見ることができなかったの、アーカイブがあるとありがたいです。
- ・不登校の親子の現状、支援について、これまで公の場で語られる機会がなかったので、このような機会があって本当に嬉しいし、市の教育改革の本気度が伝わってきました。弘海先生と古山先生のお話もとても分かりやすく、不登校の現状を知らない人にもわかっていただけたと思います。教員や子どもに関わる市の職員にもぜひ見ていただいて意識改革になりますように。このような機会をありがとうございました。

- ・息子が中学1年の冬から突然学校を休みがちになり、2、3年次はほとんど行かないまま、塾に週何時間か行って、定時制高校に進学しました。その高校も半年で行けなくなりましたが、近所のスーパーでアルバイトを始めたら職場では重宝がられ、4年間続けることができました。あの頃は、教育支援センターはなかったのか、中学の先生からご紹介いただくことはなく、スクールカウンセラーの先生と反りが合わず、父親は不登校へん理解がなく、本当に毎日が辛かった。中卒で一旦働いてみるのもいいです。その後、高校に行きたいとなったときにそれが現実的に可能だと思えると、一步踏み出せると思います。これからの市の取り組みに期待します。
- ・不登校の中学3年生の保護者です。古山先生のお話し藤代市長の真剣に不登校のことに向き合おうとする姿を拝聴できて有意義な時間でした。進路を選択するとなると学校も先生方も当然ながら、情報もほとんどなく親が手探りで探すしかない現状です。勉強が好きな子供も定時制、通信制からの選択になるのか未だよくわかりません。進路のサポートをしてくれる、または聞ける場所が欲しいです。
- ・古山明男先生が最後の方に言われた、現場の声にもっと耳を傾ける。ということ、全くもってその通り、一番に取り組んで頂きたい案件です。
- ・課題が多面的に絡み合い難解極まりない不登校をテーマに掲げ、果敢に斬り込み、理解を深めようと丁寧に向き合おうと、取り上げてくださった意気込みに、熱量ある本気度を感じました。子どもたちのために真剣に対話をし、施策探求してくださっている皆さんの姿勢を垣間見せてくださるこのYouTube公開の企画は、確実に官民を繋げていく機会になっていると感じている次第です。LINE配信の臨場感は、皆さんのリアルな思いが乗り、視聴する私達市民の心に、強く響くものになっています。相当なプレッシャーもおありかと察しますが、市民のためにより良く印西市を創りあげていく熱いメッセージとして、しっかりと受け止めさせていただいています。弘海先生と古山先生という、最強のお二方が一堂に会する今回の配信。このアーカイブは神回として、不登校に苦しむ親子や、理解しようとされる先生に向けて、視聴を活用してもらえることと思います。お二方の講話には、不登校の受け止め方や理解の観点が網羅されており、精神的な支援ツールを得られた心境であります。これまでの既存の形の教育に子どもを適応させる…のではなく、まず子どもの心に寄り添い、声を聴き、子どもに合わせた教育を私たち大人が、立場を超えて模索していくこと無くしては、子どもたちや我々大人たちのウェルビーイングに、辿り着けないんだと感じています。子どもたちの笑顔指標、最大級の市を目指して、共に手を取り合って、腹を割って（笑）対話したい！と思いを新たにさせられました。素晴らしい配信、本当にありがとうございました。
- ・お疲れ様でした！教育について真剣に語る大人、そーいう議論を市民に開いてくれる印西市、カッコいい🌟。市民として誇らしいです。まだまだやることは多いと思いますが、共に新しい教育を作っていきましょー！ありがとうございました！
- ・素晴らしい教育会議でした。まず、印西市がこのようなテーマを3時間以上もかけて、市民に広く公開しながら、主要な方々がそろう中で、学び合い、議論されている光景を

間近で感じながら、胸がいっぱいになりました。古山先生と弘海先生のお話、感動しました。子どもとまっすぐ向き合ってこられた方々の言葉には、とても力がありました。命を中心に教育や社会のあり方を考える、この視点が素晴らしいと思いました。最後におっしゃった、古山先生の「悪人は誰もいない、不登校は制度問題」という言葉、刺さりました。親も学校もフリースクールも行政も、誰もが子どもたちの幸せを願い、最善を尽くしている中で、あの場で、この視点に立てたことは大きいのではないのでしょうか。印西市の教育が変わる！誰一人取り残さない、幸せな子どもが溢れるまちになる！このチームなら、それができる！…そんな希望をもちました。公と民が手を取り合い、助け合い、学び合いながら、全総力をあげて子どもたちを支えていく、その覚悟を感じた会議でした。ありがとうございました。

- ・支援の専門の方のお話が聞けて良かったです。医療的視点から不登校児に関わる場合もありますが学校、地域との関わりが改めて重要と感じました。1部ですが家庭でお子様に関わる専門職として看護師や言語聴覚士もおります。今後学校地域と連携して行きたいと思います。
- ・行政とこんな話し合いが出来ていて希望があるなと思いましたが、うちの子が学生のうちはあまり変わらなそうなスピード感だとも思いました。
- ・今回の議論を受けて、職員の皆様が具体的にどのように動かれるかはどのように知ることが出来るのでしょうか？専門家の先生のお話、とても興味深く伺いましたし、自分を責めている親子に届くと良いなと思います。不登校は本人の問題ではなく、時代の歪みのようなものなのだと思います。学校に戻すだけではない選択肢が増えていくことを願います。
- ・不登校の子をもつ親として、このテーマを真剣に議論されている姿に希望が持てました。当事者の気持ちと学校の考えにズレが生じていて、辛い思いをしたりもするので、相互理解が深まっていけば良いなと思いました。このような形で配信して下さい、今回の内容はたくさんの人に見て欲しいと思いました。従来の学校に縛られ続けるのが親子ともに辛いです。印西市には素晴らしいフリースクールもありますし、色んな学校が出来て、自由に選べるようになると良いなと願っています。
- ・藤代健吾市長様 第2回印西市総合教育会議を拝聴させていただきました。市長が市長になる前からのマニフェストに従い活動を開始されたことに期待しております。この中でフリースクールについて興味がありましたので、感想をのべさせていただきます。
ポリヴェーガル理論の応用として、・暖める。解凍する。・居心地の良さ、仲間・楽しいこと、熱中・芸術、自然が集まるところとして、フリースクールの仕組みが好ましい姿となっている。

フリースクールの目的・社会的自立を醸成する仕組みで、学校に返すことではない。

フリースクールで出来ること・通う小学生、中学生（子どもと称する）にいろいろな機会を与える。・自分たちが問題点を発見し、仲間を集め、挑戦し、解決する。・大人は、解決に向かい伴走するだけで、導かない。

いろいろな機会例

- ・防災イベント（もし災害があり、ここで仲間と1週間生き延びるためには）
- ・自然 里山の会（ホタル観察等） 印旛沼観光船による印旛沼観光(6/24 実施：印旛沼水質保全協議会主催)・消防署訪問イベント：質問：消防士になろうと思ったのは？消防士になるために、今何をしていればいい？会話の中から、いろいろが可能性を見いだせる機会・コストコ職業体験・その他職業体験・N高校の学校案内参加

親のケアラー（ケアラーコミュニティカフェにて）・子どもが、体育館で遊んでいる際に、親だけの情報交換会

公的支援（ハード面とソフト面） 自助（家庭）、共助（フリースクール、地域社会等）、公助とあるが、印西市にお願いしたいこと・建物の建設補助：子どもを助けたという心があるが、資金がなく立往生している団体(?)に、支援する。たとえば、ぴおねろの森さんが進めているフリースクールでは、コンテナにて活動が続ける予定だが、施設となるコンテナが当初計画を大きく下回っている状況です。こちらの不足するコンテナ教室を提供することです。(印西市の土地にて活動をしていると聞いております。)

9月コンテナ搬入後、一度視察されてみてはいかがでしょうか？・機会の支援:上記にも示した中で、消防署見学、観光船の支援です。市役所の仕事体験もあれば、なお、社会に触れる機会が増えます。このような仕組みは、通常の学校指導にも展開出来ると思われれます。最後になりましたが、藤代健吾市長の今後のご活躍をお祈申し上げます

- ・現在小5になる娘が小1の時に、現在中3になる息子が中1の時に不登校になり、悩み苦しきどうしてよいのか辛い日々も経験してきました。今ではこの経験のお陰でたくさんの温かい方と出会わせてもらい、不登校を通してさまざまなことを教えてもらい子どもたちにはありがたいと思う日々です。会議を配信で見させていただき、多忙な市長さんがこんなにも熱心に不登校の現状に向き合われ、先を考えてくださっていることに感謝の気持ちでいっぱいでした。また弘海先生のお話も伺い、弘海先生が印西市に来てくださり、この出会いに感謝でなりません。私も我が子が不登校になった時、真っ暗な先の見えないトンネルの中でした。弘海先生のような保護者の支援、印西市で行っている子育てコンシェルジュのように、面談や相談ができる機会があれば救われる親子さんが多いと思います。弘海先生を中心として心理士さんソーシャルワーカーさんが相談員でいてくれたらありがたいと思います。この会議をみることで、救われる保護者さんもたくさんいるかと思っています。みなさんの熱心で、温かいお気持ちに感謝しております。ありがとうございました。お礼として記入させていただきました。

- ・不登校の親です。今回のお二人の講演はもっと多くの方に聞いてほしいと強く感じます。もっと早くに聞きたかった！1人で悩んでいる不登校や行き渋りのお子さんの母さんとても多くいると思います。そういう方と繋がる場が出来たら嬉しいです。
- ・不登校の保護者は不安を抱えていますので財政面だけではなく、精神面でのサポートができる場があると良いと思いますし、市に意見が言える場があると良いと思いました。

- ・発達障がい児支援、身体障がい児、医療ケア児の支援についても同じような形で現状の理解が進む機会をお願いします。
- ・先生の雑務低減をお願いします。
- ・教育支援センターの利用率の低さが、ミスマッチのように思えます。実際、見学もさせてもらいましたが、先生方も熱心で温かい方でした。ただ、学校に来られない生徒の支援の場所という困った子供を学校に復帰させるため、学校の延長に感じました。塾やフリースクールのような子供自ら行きたい場所でないと思えます。
- ・昨年度、防災関連の団体として原小学校にお邪魔した際、当時の校長先生に地域の方々と関わっておくことの重要性についてお話しさせていただきました。大規模な災害が起きたときは、先生方もご自宅へ向かいたい。地域の人と連携をとり任せられる体制を築くことが必要ではないかとお話ししました。校長や教頭も3年で変わるので、お話をしても来年はわからない。予定もあらかじめ組む必要がある。など、難しさを話していただきました。統一した避難訓練や児童受け渡し方法になると良いと思いました。
- ・教育、地域側からの意見をきく機会は少ないため機会があればまた参加したいと思います。
- ・質の高い教員を求めますが、質の高い教員とは自分で考えられる教員だと思います。自分で考えられる余裕と全体的な空気作りが急務だと思います。良い先生が慣習にとらわれ、苦しんでいるように私は感じます。慣習にとらわれ自分で考えられなくなっている可能性があると思います。その苦しみが子どもにいつてしまう可能性があります。教育とは何なのか本質的な議論、すぐに答えは出ませんが本質的な議論をしやすい空気作りが大切だと思います。
- ・登校できている子たちにも問題を抱えている子がいると思いますが、今印西市は国全体の流れに反して子どもが増え、先生の負担も増えていて目が行き届かないことも気になりますので、先生が本来の仕事ができるような事務サポートや保健サポートができるような印西独自の子どものサポート体制を検討し、教育子育ての先進都市として日本を牽引できるような施策をつくっていただけたらなと期待します
- ・教育の形は、本当に色々あって良いと思います。人と比べたり、こうしようという教育は、子供を苦しめる場合があることを認識していくべきだと思います。
- ・不登校の原因に「いじめ」もあると思います。いじめは数が少ないかもしれませんが、その子の人生、場合によっては命に関わる重大な事態になることがあります。他市町村を参考にもっと力を入れていただきたいです。

※いただいたご意見につきましては、教育ビジョンの策定及び教育施策を進めていく上での参考とさせていただきます。

教育センターより

お子さんの状況に寄り添うことができず、申し訳ありません。現在、印西市教育センタ

一では、不登校のお子さんを持つ保護者の皆さんの相談を受け付けており、9月に相談窓口に関するご案内をスクリレで発信しています。

電話相談員による相談受付、指導主事による面談、心理士による心理検査など、お子さんの状況に合わせた提案ができるよう、体制を整えております。今後も学校と協働しながら、お子さんとともに保護者の皆さんも支えられるように努力してまいります。